

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第48週（11月23日～11月29日）

インフルエンザ予防接種はお早めに

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われていています。かかりつけ医等医療機関にご相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討下さい。

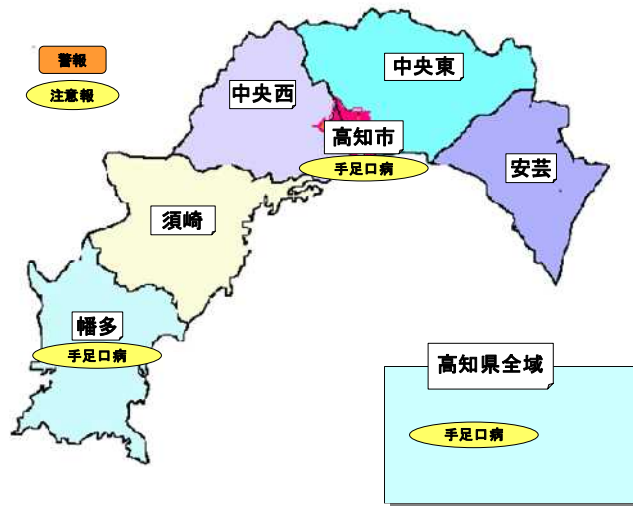
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
手足口病	↗	2.29	幡多、中央東、安芸で急増、県全域、高知市で増加し、県全域、幡多、高知市で注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	1.39	幡多で減少していますが、中央西、須崎、安芸で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	0.43	高知市、須崎で急減、県全域、幡多で減少していますが、安芸、中央東で急増しています。
突発性発疹	→	0.29	中央東、安芸、中央西で急減していますが、須崎、高知市で急増しています。
ヘルパンギーナ	↓	0.21	県全域、幡多、安芸、中央東で急減、高知市で減少しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

<正しいマスクの着用>

- ①鼻と口の両方を確実に覆う
- ②ゴムひもを耳にかける
- ③隙間がないよう鼻まで覆う

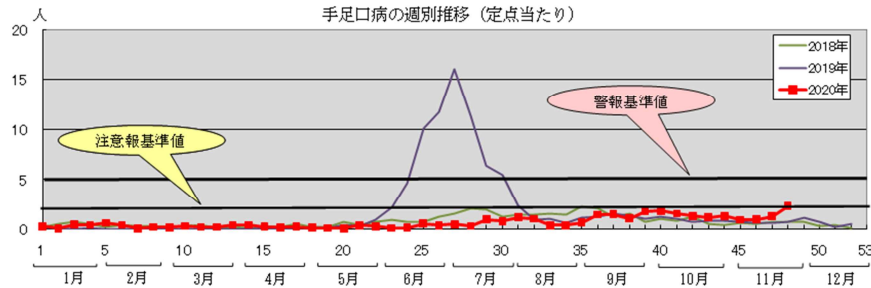


★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○手足口病に気を付けて！

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患です。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。



<予防方法>

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

【学校感染症】

手足口病は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身症状が改善すれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでない」と規定されています。

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱・つつが虫病）に注意！

第48週に中央東福祉保健所で「つつが虫病」の発生届が1例報告されています。

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息するダニの一種で比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。（全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。）

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

【ダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- ダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	Rhino virus?	咳嗽, 下気道炎,	5	男	須崎	Adenovirus 2
44	手足口病	水疱, 発疹, 口内炎,	2	女	高知市	Coxsackievirus A16
45	手足口病	38℃, 水疱, 発疹, 口内炎,	1	男	高知市	Coxsackievirus A16
45	ヘルパンギーナ	40℃, 嘔吐, 嘔気, 上気道炎,	7	男	幡多	Coxsackievirus A4
46	—	39℃, 咳嗽, 上気道炎, 気管支炎,	8ヶ月	女	中央東	Coxsackievirus A4

★全数把握感染症

	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	58	90 歳代 男	中央東
		1		70 歳代 女	高知市
4 類	つつが虫病	1	1	70 歳代 男	中央東
5 類	クロイツフェルトヤコブ病	1	2	80 歳代 男	高知市
	後天性免疫不全症候群	1	6	40 歳代 男	
	百日咳	1	35	30 歳代 女	安 芸

★定点医療機関からのホット情報

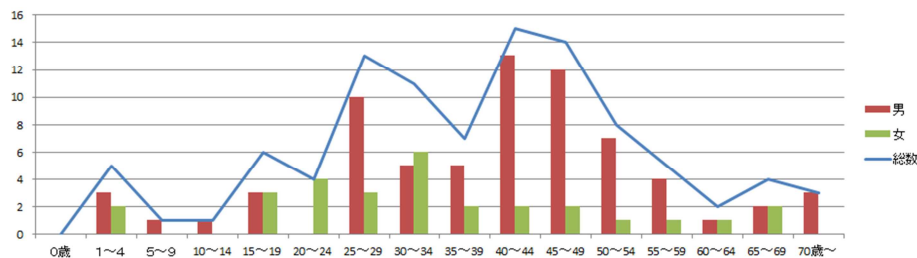
保健所	医療機関	情 報
中央東	JA 高知病院小児科	手足口病 1 例 (1 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 2 例 (2 歳、14 歳) 病原性大腸菌 O26 腸炎 1 例 (9 歳) アデノウイルス咽頭炎 1 例 (2 歳)
	福井小児科・内科・循環器科	手足口病 16 例
中央西	石黒小児科	帯状疱疹 1 例 (7 歳男)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (1 歳男、3 歳男)
幡 多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 2 例 (1 歳男、2 歳男)
	さたけ小児科	手足口病 17 例 (1 歳 9 人、2 歳 4 人、3・4・5・6 歳各 1 人)

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2020 年第 1 週～第 47 週の累積報告数は 99 人 (男性 70 人、女性 29 人) となっており、そのうち 87% (86 人) が成人で、25 歳から 50 歳代の男性が中心となっています。

2020年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

- 対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
 - ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
 - 1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

- 厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaaku-kansenshou/rubella/index_00001.html
- 無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>
- 風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>
- 風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>
- 風しんについて（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaaku-kansenshou/rubella/

○高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数								
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	総計
11月	2	月						
	3	火						
	4	水						
	5	木						
	6	金						
	7	土						
	8	日						
	9	月						
	10	火						
	11	水						
	12	木						
	13	金						
	14	土						
	15	日						
	16	月						
	17	火						
	18	水						
	19	木						
	20	金						
21	土			145	146			2
22	日							
23	月			148	147			2
24	火							
25	水				149			1
26	木							
27	金							
28	土							
29	日	150						1
総計		3	12	100	11	3	21	150

総計は2月28以降の報告者数
数字は症例番号 女性は斜体

★ 直近の新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの状況（2020年11月24日現在）

（国立感染症研究所IDWR2020年第46号より）

新型コロナウイルス感染症：

2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認され、2020年1月30日、世界保健機関（WHO）により「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言され、3月11日にはパンデミック（世界的な大流行）の状態にあると表明された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2020年11月24日15時現在、感染者数（死亡者数）は、世界で59,114,674例（1,395,227例）、193カ国・地域（集計方法変更：海外領土を本国分に計上）に広がった。

国内では、厚生労働省により公表されている、各自治体がプレスリリースしている個別の事例数（再陽性例を含む）を積み上げた情報によると、2020年11月24日0時現在、新型コロナウイルス感染症の検査陽性者は133,929例、死亡者は1,989例と報告されている。PCR検査実施人数は、暫定値として3,286,323例であった。全国の報告日別新規陽性者数は、9月後半（第39週）より増加傾向に転じ、第46週（11月9～15日）は検査数が大きく増加したが、それを上回る陽性者数の増加により、陽性率（検査数に対する陽性者数の割合）が6.1%（10,058/164,064）と、5%を上回った。

COVID-19による全国の入院治療等を要する者の数の推移については、9月下旬以降は横ばいになり、10月20日の5,031例を底に、再び増加に転じている。日本COVID-19対策ECMOnetが集計するECMO/人工呼吸器装着数の推移においては、8月22日（202例）をピークにその後減少に転じていたが、感染者数の新たな増加に伴い、時間差をおいて10月下旬から増加し11月19日には204例となり、8月のピークを上回った。その後も増加を続けている（2020年11月24日現在）。なお、全国的に、介護施設等を含む集団感染（クラスター）の発生が相次いで認められていることから、地域によっては、重症患者の著しい増加に伴う医療体制の逼迫について警戒しなければならない。この重症患者数については、一部の都道府県においては、都道府県独自の基準にのっとり発表された数値を用いて算出されていることに注意する。

なお、感染症発生動向調査（NESID）病原体サーベイランスには、医療機関、保健所等で採取された検体から、各都道府県市の地方衛生研究所、保健所、ならびに検疫所で検出された病原体の情報が、任意ではあるが報告されている。2020年11月24日現在、地方衛生研究所および保健所から報告された、新型コロナウイルス感染症/新型コロナウイルス感染症疑い症例から検出された病原体は、SARS-CoV-2が7,831件（4月が最多の3,282件；8月までは陽性割合も4月が最高であった）、陰性が63,226件であった。これ以外にも検疫所で検出されたSARS-CoV-2が170件報告されている。

2020年5月29日以降、新型コロナウイルス感染症発生届に関する国への報告事務は、厚生労働省が運営する新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）を用いて行われることとなり、移行可能な自治体から順次、移行を実施し、現時点で全国の自治体で利用されている。厚生労働省においては、今後の統計情報の集計等については、HER-SYSに入力された情報に基づいて行うことを基本とするとしている。本稿では、HER-SYSに基づく情報は含めておらず、今後分析を行っていく予定である。

季節性インフルエンザ：

全国約5,000のインフルエンザ定点より報告された、2020年第46週（2020年11月18日現在）の定点当たりのインフルエンザ報告数は0.00（患者報告数23）となり、前週の定点当たり報告数0.00（患者報告数24）と同程度で推移している。都道府県別の第46週の定点当たり報告数（報告数）では岡山県0.05（報告数4）、三重県0.03（報告数2）、愛媛県0.03（報告数2）、新潟県0.02（報告数2）、滋賀県0.02（報告数1）、宮崎県0.02（報告数1）、北海道0.01（報告数3）、神奈川県0.01（報告数2）、岐阜県0.01（報告数1）、静岡県0.01（報告数1）、大阪府0.01（報告数2）、東京都0.00（報告数2）となっている。定点医療機関からの報告を基にした、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数は推定出来ない（約0万人）。また、全国約500の病原体定点からの報告による感染症発生動向調査（NESID）病原体サーベイランスにおける、インフルエンザウイルス分離・検出速報によると、2020/21シーズンのインフルエンザウイルス分離・検出報告はまだない。より重症な患者を反映する、全国約500カ所の基幹定点医療機関からのインフルエンザによる入院患者数（インフルエンザ入院サーベイランス）においては、第41週1例、第42週4例、第43週1例、第44週4例、第45週4例、第46週9例が報告されており、微増傾向であるが依然として少数である。

「感染症法に基づくサーベイランス」以外の情報においても、低いレベルで推移しており、大きな増加傾向は見られていない。「国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動向」のデータにおいては、2020年6～10月にインフルエンザ検査は継続的に行われてきたが、インフルエンザ患者は報告されていない〔国立病院機構141病院で、診察医師がインフルエンザ（疑いを含む）と仮診断した患者にインフルエンザ迅速抗原検

査を実施した検査件数と陽性となった数の報告]。一方、インフルエンザ様疾患発生報告数（全国の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校におけるインフルエンザ様症状の患者による学校欠席者数；においては、第36～46週までに、第37週に学年閉鎖1、第43週に学級閉鎖1、第44週に学級閉鎖1が報告されている。

新型コロナウイルス感染症においては、全国的にはほとんどの指標が増加傾向を示している。現在はまだ低レベルのインフルエンザにおいても、今後の推移については不明な点が多い。引き続きそれぞれに対する注視と警戒が必要であり、インフルエンザに対してはワクチン接種の実施に加え、共通する個人の予防策として、マスクの適切な使用、手洗い・手指衛生の徹底、適切な換気等の実施に努めていただきたい。

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年11月30日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

		第48週 令和2年11月23日(月)～令和2年11月29日(日)							高知県衛生環境研究所					
定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計)		全国(47週末累計)	
											R1/12/30～R2/11/29	R1/12/30～R2/11/22		
イノシシ	インフルエンザ							()	()	48 (0.01)	7,097 (147.85)	563,115 (114.18)		
小児科	咽頭結膜熱			1				1 (0.04)	1 (0.04)	795 (0.25)	300 (10.00)	30,140 (9.56)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	7			3	12 (0.43)	24 (0.86)	2,543 (0.81)	1,496 (49.87)	187,194 (59.37)		
	感染性胃腸炎	2	5	16	6	3	7	39 (1.39)	35 (1.25)	7,491 (2.38)	2,401 (80.03)	372,972 (118.29)		
	水痘			1		1		2 (0.07)	10 (0.36)	727 (0.23)	237 (7.90)	28,247 (8.96)		
	手足口病	2	11	30			21	64 (2.29)	35 (1.25)	383 (0.12)	896 (29.87)	16,499 (5.23)		
	伝染性紅斑							()	()	44 (0.01)	240 (8.00)	18,037 (5.72)		
	突発性発疹		1	4		2	1	8 (0.29)	9 (0.32)	1,415 (0.45)	501 (16.70)	58,965 (18.70)		
	ヘルパンギーナ			4			2	6 (0.21)	20 (0.71)	424 (0.13)	304 (10.13)	23,518 (7.46)		
	流行性耳下腺炎		1				1	2 (0.07)	3 (0.11)	164 (0.05)	97 (3.23)	7,346 (2.33)		
	RSウイルス感染症							()	()	325 (0.10)	176 (5.87)	15,971 (5.07)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	2 ()	()	166 (0.24)		
	流行性角結膜炎							()	()	163 (0.24)	14 (4.67)	8,244 (11.88)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	4 (0.01)	2 (0.25)	363 (0.76)		
	無菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	8 (0.02)	2 (0.25)	419 (0.88)		
	マイコプラズマ肺炎							()	1 (0.13)	28 (0.06)	95 (11.88)	3,392 (7.10)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	1 (0.13)	56 (0.12)		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	7 (0.88)	236 (0.49)		
計	5	19	63	6	7	34	134			14,565	13,866	1,334,880		
小児科定点当たり人数	(2.50)	(2.70)	(6.99)	(2.00)	(3.50)	(6.80)	(4.79)				(369.45)			
前週	4	19	72	7	5	32		139						
(小児科定点当たり人数)	(2.00)	(2.72)	(7.78)	(2.33)	(2.50)	(6.40)		(4.90)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

		第48週												
定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計)		全国(47週末累計)	
											R1/12/30～R2/11/29	R1/12/30～R2/11/22		
イノシシ	インフルエンザ									0.01	147.85	114.18		
小児科	咽頭結膜熱			0.11				0.04	0.04	0.25	10.00	9.56		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	0.78			0.60	0.43	0.86	0.81	49.87	59.37		
	感染性胃腸炎	1.00	0.71	1.78	2.00	1.50	1.40	1.39	1.25	2.38	80.03	118.29		
	水痘			0.11		0.50		0.07	0.36	0.23	7.90	8.96		
	手足口病	1.00	1.57	3.33			4.20	2.29	1.25	0.12	29.87	5.23		
	伝染性紅斑									0.01	8.00	5.72		
	突発性発疹		0.14	0.44		1.00	0.20	0.29	0.32	0.45	16.70	18.70		
	ヘルパンギーナ			0.44			0.40	0.21	0.71	0.13	10.13	7.46		
	流行性耳下腺炎		0.14				0.50	0.07	0.11	0.05	3.23	2.33		
	RSウイルス感染症									0.10	5.87	5.07		
眼科	急性出血性結膜炎											0.24		
	流行性角結膜炎									0.24	4.67	11.88		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.25	0.76		
	無菌性髄膜炎								0.13	0.02	0.25	0.88		
	マイコプラズマ肺炎								0.13	0.06	11.88	7.10		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.13	0.12		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.88	0.49		
計	(小児科定点当たり人数)	2.50	2.70	6.99	2.00	3.50	6.80	4.79			369.45			
前週	(小児科定点当たり人数)	2.00	2.72	7.78	2.33	2.50	6.40		4.90					

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第48週)

